



静思

高森町立高森中学校だより 第307号
(令和6年度 第3号)
令和6年(2024年)7月23日

担当：教頭 田中清一

1学期が終業となりました 高宮校長先生のお話

令和6年度 1学期終業式



令和6年7月23日(火)

<4月>

- 入学式
- 生徒会発足
- 部活動 //
- 修学旅行

<5月>

- 生徒総会
- しごと未来フェア
- 大縄クスマッチ
- 情報リレー講演

<6月>

- 中体連大会
- 保育実習
- 期末・総合テスト
- 進路講話

<7月>

- 夢の教室
- 吹奏楽コンクール
- 終業式
- 夏休みへ

4月、142名の新入生を新たな仲間として迎え、令和6年度がスタートしました。

その4月には、本年度の生徒会や部活動が発足し、本格的な活動を始めました。3年生は、楽しみにしていた修学旅行がありました。5月には、2年生がしごと☆未来フェアで職業に関わる理解を深めたり、大縄クスマッチでクラスのまとまりをつくりました。6月は、中体連夏季大会があり、熱戦がくり広げられました。そして、1年生にとっては中学校で初めて取り組む期末テストもありました。3年生は、高校の先生方や先輩から進路に関わる講話をお聞きしました。そして7月、3年生は日本サッカー協会の事業である「夢の教室」で、一流の講師の方に、夢をもつことの大切さを学びました。吹奏楽部の皆さんは、つい先日、コンクールに参加しました。こうやって振り返ってみると、本当にいろいろなことがあり、それぞれの行事や活動が、本当に充実していたと感じます。

さて、明日から30日間の夏休みが始まります。なぜ、皆さんには、これだけ長い期間の夏休みがあるのでしょうか。いろいろな考え方があると思いますが、私は、未来のある学生の皆さんだからこそ、「普段できないことに挑戦」するチャンスとして、「学生だけ」に十分な時間が与えられているのだと考えています。ぜひ、このチャンスを生かして、自ら考え、自ら動いてみてください。

ところで

夏休みはなぜあるの？

今年は30日間

- ・暑さ回避？ えっ 学生だけ！
- ・心身の休養？ えっ 学生だけ！
- ・普段できないことに挑戦？

学生だけのチャンス！



夏休みというチャンスを
ものにできるか！
それとも逃してしまうか！？



すべては自分次第 ~自ら考え、自ら動く~

「やってみよう！」の決意が大事に

8/23(金) 元気に会いましょう

なお、夏休み中には、1年生は阿南少年自然の家を中心にした校外学習、2年生は職場体験学習、3年生は高校見学や個別懇談なども予定されています。生徒の皆さんにとって、それぞれの学習や活動が、実り多いものになることを祈っています。

ところで、この夏休みですが、3年生は卒業後の進路に向けて、2年生は生徒会や部活動を引き継いで学校の中核となるために、そして1年生は一人立ちから大事な一歩をふみだすために、いかに「自ら考え、自ら動く」ことができるかが、2学期以降の生活に大きく影響するはずで、つまり、「すべては自分次第」ということです。ぜひ、ひとりひとりが、「やってみよう！」という決意を大事にして、夏休みという学生だけに与えられたチャンスを、自分の「もの」にしてほしいと強く願っています。

ただし、充実した楽しい夏休みも、健康で安全に過ごせなければ、台無しになってしまいます。どうか、交通事故や熱中症に十分気をつけてください。また、インターネットやSNSでのトラブルなどが起きても、暗く悲しい夏休みになってしまいますので、利用の仕方には十分気をつけてください。

充実した夏休みを送り、心と体のエネルギーをしっかりと貯え、8月23日にまた、元気に会えることを楽しみにしています。



「自主 自律 自省」に満ちた躍動の1学期



【校歌の一節「誠実をもちて頭わさん」そのものの生徒の姿】

今日の給食の時間、Kさんが給食の準備で箸を配っているときに、配られる人が左利きか右利きかを考えて、箸を置いていました。

私だったらそこまで気配りができないので、細かいところにKさんの思いやりを感じました。とても素敵だと思いました。(2年生 Aさん)

【今月のうた ~校歌の作詞者・窪田空穂の短歌より~】

何をさは苦しみてわれのありけるぞ立ちて歩めば事なきものを (『濁れる川』より、国民文学社、1915年)

